

預金部預金法案外二件特別委員會議事速記録第二號

大正十四年二月二十五日(水曜日)午後一時二十四分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス

○子爵牧野忠篤君 チョット大臣ガ御出席デアリマスカラ、預金部ノ今度出來マス運用委員會ハ内容ハ勅令ニト云フコトデアリマスガ、御腹案ガアレバ伺ヒテ置キタイ

○國務大臣(濱口雄幸君) 此運用委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ定メマスケレドモ、其大體ノ腹案ト致シマシテハ、委員ハ餘リ多數デナイ方ガ宜カラウト思ヒテ居ル、ドウモ多數デアリマス、議論倒レニナリマシテ、實際ノ仕事ガ運バヌト云フ弊ガアリマスカラ、成ルベク少數ニ致シマシテ、其人選ニハ最も注意スル積リデアリマス、大體其員數ハマダ確定ハシテ居リマセヌ、ケレドモ十人乃至十五人、十五人以上ニハシナイ考デアリマス、其中デ凡ソ半數位官吏トソレカラ官吏以外ノ人トヲ分チマシテ、官吏ヲ半分以上採ルト云フヤウナコトハシナイ積リデアリマス、其官吏ハ大體大藏、内務、農商務、逓信アタリノ官吏ト致シマシテ、其他ハ民間カラ採リマス者ハ、學識經驗アル者ト云フコトニシマシテソレニ貴衆兩院議員ヲ加ヘマスヤ否ヤト云フコトハ、マダハッキリ決メテアリマセヌ、是ハ未定デゴザイマス、其他特殊銀行ノ總裁デアルトカ民間ノ有力者、或ハ學校デアルトカ、サウ云フ所カラ、民間ノ人ハ採ルト云フ考デアリマス、大體官吏カラ半分、ソレカラ民間ノ學識經驗アル者カラ半分採ル位ノ程度ニスル積リデアリマス、場合ニ依リマシテ

ハ、民間ノ人ヲ官吏ヨリモ多クシタイカト考ヘテ居リマス

○菅原通敬君 此諮問機關ニ關聯シテ御伺ヒイタシマスガ、衆議院ノ委員會等ニ於テモ説ガアツタヤウデアリマスガ、諮問機關ト云フコトニナルト云フト、從來餘リ無力デアツテ形式ノミニ止ル、寧ろ其政府案ノミガ支持セラレテ、政府ガ原案通りニスルト云フヤウナコトガアル、イツデモ政府ノ天降案ガ實行サレルト云フコトニナルカラ、之ヲ決議機關ニシタラドウカト云フヤウナ意見モアツタノデアリマスルガ、簡易生命保險委員會ノ成績ヲ見ルト云フト、如何ニモ餘リニ無力デアルト云フヤウナ非難ヲ免レナイヤウナ狀況ニナツテ居ルヤウデアリマス、之ヲ決議機關トセラレルト云フ御考ハ御持チニナラヌノデアリマスカ

○國務大臣(濱口雄幸君) 此運用委員會ノ權限ノコトニ付キマシテハ、法律ノ立案ヲイタシマタ時ニ大分考慮ヲ要シマシタ、或ハ之ヲ決議機關トスベキヤ或ハ又諮問機關ニ止ムベキト云フコトニ付キマシテハ、色々考ヘテ見マシタガ、ドウモ之ヲ決議機關ニ致シマスルト、大藏大臣ガ餘リニ無責任ノ位置ニ立ツノデアリマスカラ、預金部ノ金ノ運用ニ付テハ、兎ニ角全部ノ責任ヲ持タナクレバナラス、其全部ノ責任ヲ持ツ上カラ致シマスルト云フト、委員會ヲ決議機關ニ致シテ置クト云フコトハ、ドウモ是ハ不都合デアラウ、又實際カラ言ヒマシテモ、委員ノ人選ニ十分ニ注意ヲシマシテ、唯今申上デマシタヤウナ組織ノ委員會ガ出來マシタ以上ハ、ソレニ對シテ政府ガ諮問ヲ致

シマス、其委員會ノ意見ガ明瞭ニナリマシタ以上ハ、是ハ原則トシテ政治道德上委員會ノ意見ヲ採用スルコトニ自然ナラウト思ヒマス、ヨクノ場合ガナケレバ、其委員會ノ意見ヲ無視シテ、大藏大臣ノ原案デ之ヲ決行スル場合ハアルマイと思ヒマスケレドモ、左リトテ全部委員會ノ意見通りニ走ルト、斯ウ云フ考デアリマスカラ、斯ノ如キ場合ニ於ケル委員會ノ權限等ノ振合等モ考ヘタ上デ諮問機關ニ致シタノデアリマス

○菅原通敬君 此種ノ會議デ、何カ決議機關トナツテ居ルト云フ例ガアリマセウカ、政府ニ御調ベガアレバ……

○政府委員(富田勇太郎君) 私カラ御答ヲ致シマス、現在設置セラレテ居リマスル委員會ノ中デ決定機關ニナツテ居リマスルハ、喪失國債審査會、震災燒ケマシタ公債ノ救済ヲスル喪失國債審査會、土地收用審査會、特別都市計畫ノ方ノ補償審査會、市街地建築物法施行令ニ依リマス、補償審査會等ハ、總テ個人ノ權利ノ保護、國家ノ補償ヲ目的トスルノデアリマシテ、是等ニ對シテハ其査定、又決定等ヲ爲スコトヲ本體トナシテ居リマス、サウ云フモノハ總テ決定機關ニナツテ居リマス

○菅原通敬君 大分今ノ決定機關ニナツテ居ルモノハ會議ノ種類ガ違フヤウデアリマスカラ、是ハ矢張り諮問機關トセラル、ト云フコトハ此場合已ムヲ得ヌドラウト思ヒマスガ、諮問機關タルニ對シテ成ルベク意思ヲ尊重セラレテ、今大藏大臣ノ言ハレタ通り十分ニ重要視サレテ、有意義ノモノニ

サレムコトヲ希望イタシマス、尙ホ其權限ニ關スルコトデアリマスガ、此前御尋ネ致シマシテ、御意思ハ分ツタノデアリマスガ、折角預金部ノ經理ニ付テ諮問機關ヲ置カルト云フコトデアリマスカラ、ソレニ關スル重要ノ事項ハ總テ御諮問ニナルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、願ハクハ運用ニ關スルコトノミナラズ、預金ノ預入レニ關スル事柄ノ中デモ大分重要ノ事項ガアラウト思ヒマス、斯ル種類ハ預金部トシテ預入ルベキヤ否ヤ、各種預金ニ對スル利子ヲ如何ニ定ムベキカト云フヤウナコトハ、中々重要ノ事項ダと思ヒマスカラ、矢張りサウ云フヤウナコトモ御諮問ニナル方ガ宜クハナイカト思フノデアリマス、名稱ガ既ニ運用委員會ト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソレハ運用以外ノ事デアルカラ諮問ニ及バヌト云フノデ、サウ云フモノハ御諮問ニナラヌノデアリカ、或ハサウ云フヤウナ重要事項ハ運用ニ關係ナイノデアルケレドモ、事實諮問シテ意思ヲ徵スル御考デアルカ、其處ヲ一ツ伺ヒマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御尋ネノコトハ、運用委員會ヲ設ケテ之ニ諮問スルノ事項ハ、運用ニ關スルコトノ外ニ或ハ預金ノ利子ニ關スルコト、或ハ預入レニ關スルコト、苟モ重要事項デアル以上ハ、預金ニ關スルコトヲ諮問スル考ハナイカト、斯ウ云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、原案ノ趣意ハ全ク運用ニ付テハ諮問デアリマシテ、運用以外ノコトニ付テハ諮問スル考デアリマシマス、勿論運用ト申シマシテモ、新ニ運用スルモノハ無論デアリマスケレド

モ、其外ニ既往ノ運用ニ關スル整理迄モ、重要ナ事項デアリマス以上ハ、之ヲ諮問スルコトハ勿論デアリマス、運用以外ノコトハ諮問イタサヌデモ宜カラウカト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 預金法ノ御質問ガゴザイマセヌケレバ……

○菅原通敬君 マダ少シ伺ヒタイ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 左様デスカ、ドウゾ……

○菅原通敬君 此簡易生命保險ノ積立金ノ運用ニ關シテハ別ニ運用規程ガアリ、又運用諮問委員會ガ出來テ居ルノデアリマスカ、アレ等ノ出來マシタノハ、預金部ニ未ダ諮問委員會ト云フヤウナモノガナカッタ時代ニ於テ已ムヲ得ズ造ラレタコトデアアル今日茲ニ預金部ニ改造ガ行ハレ、運用委員會モ設ケラレルト云フコトニナレバ、此生命保險ノ積立金運用ノ如キハ當然此方ヘ移サレテ、合同セラレテ、統一セラレルト云フコトガ、必要ノヤウニ思フノデアリマス、將來サウ云フヤウナコトヲ纏メラレルト云フコトニ付テノ御考ハアルノデアリマスカ

○國務大臣(濱口雄幸君) 此問題モ立案ノ當時ニ於テ色々調査研究ヲ致シマシタガ、兩者各、沿革ガアリマスルシ、多少其性質モ違フト考ヘマシタカラ、先ヅ此際ハ別ニ立テマシテ、統一スルト云フ案ニ致シマセヌデ立案ヲ致シマシタガ、尙ホ其點ニ付キマシテハ當局ニ於テモ十分ニ考慮ヲ要スル事柄ト考ヘマスカラ、將來ニ向テハ、出來得ベクンバ是ガ統一ニ向テ研究ヲ致シ、又考慮イタシタイス様ニ考ヘテ居マス

○菅原通敬君 此預金法ノ第二條第三條ノ關係ニ付テハ此前御尋ネ申上デマシタガ、ドウモ私再考イタシテ見マシテ、矢張りド

ウモ能ク明カニ分リマセヌシ、同僚ノ人ナドニ意見ヲ交換シテ見マシテモ、ドウモ矢張り不明確ノ嫌ヒガアルノミナラズ、郵便貯金法ノ規定及ビ郵便貯金法ニ基イテ定メラレタ利子割合ノ法令トモ何カ矛盾スルヤウナ嫌ヒガアッテ、甚ダ不明確デアアルノデアリマスガ、一體此第二條ト云フモノハ、此處ニ毛色ノ變テ條項ガ狭マッタト云フコトニ付テ、何カ深い理由デモアルノデアリマセウカ、ソレヲ政府委員ニ御尋ネ致シタイ

○政府委員(富田勇太郎君) 今ノ御質問ニ對シマシテハ前回私カラ御説明申上デマシタケレトモ、不十分デアリマシタガ爲ニ、或ハ御了解ニナラナカッタヤウニ存ジマス、實ハ此第二條ハ前回申上デマシタヤウニ、現行ノ二十三年ノ法律第二十一號特別會計法ノ中ニアリマシタル一條ヲ、多少文句ヲ修正イタシマシテ此處ニ持テ來タノデゴザイマス、實ハ此預金部ノ預リマスル所ノ各種ノ預金ニ對シテハ、各其法律勅令ノ規定ヲ要スルコトニナッテ居リマス、ソレデ第一條ニ法律勅令ニ依リ大藏省預金部ニ預入ルルト云フコトニナッテ居リマシテ、總テ預金法以外ニ個々別々ニ法律又ハ勅令ガアリマシテ、預金部ニ預入スベシト云フ規定ガアル譯デアリマス、其結果トシテ預金部ハサウ云フ預金ヲ預カルコトガ出來ルト云フコトニナルノデゴザイマス、然ルニ郵便貯金ノミハ特ニ預金法ノ中ニ預ケ入ルト云フコトガ書イテアリマスルカラシテ、何ダカ不調和ノ感ジガ致シマスルケレドモ、是ハ實ハ郵便貯金以外ノ貯金ニ付キマシテハ從來個々ノ法律勅令ガ存在シテ居リマシテ、今度預金部關係ノ法律ヲ整理シマスルタメニ何等影響ヲ被ラナイノデアリマスルガ、唯郵便貯金ヲ預金部ニ預入レ得ルト云フコトハ前申シマシタ二十三年ノ法律ニ規定

シテアリマシテ、所ガ今度此法律ヲ廢止致シマスルカラ、此第二條ニ相當スル事項ヲ單行ノ法律カ又ハ勅令デモ宜カラウト存ジマスルガ、兎ニ角此外ノ法令ニ依リマシテ此事ヲ規定スルコトガ必要ト考ヘラレマス、併ナガラ郵便貯金ト云フモノハ預金部資金ノ本體ヲ成シテ居ルノデアリマシテ、現在ノ金額カラ申シマシテモ十五億ノ資金ノ中ノ十一億以上モ占メテ居リマシテ、殆下大部分ハ郵便貯金カラ成ッテ居リマスルカラ、郵便貯金ヲ預金部ニ預入レルト云フコトハ單行ノ法令デナクテモ、此預金部預金法ニ入レタガ寧ろ適當デアラウト云フ見解カラ致シマシテ、第二條ノ規定ヲ入レタ譯デアリマス、ソレデ前回モ御話ガアリマシタ、デスカ、然ラバ前半ハソレデ宜イカモ知ラヌガ、後半ハ贅文デハナイカト云フヤウナ御意見モアリマシタガ、實際此前半ニ比較シマシテ、此後半ト云フモノハ多少逋信省内部ノ此經理關係デゴザイマシテ、或ハ之ヲ嚴格ニ申シマシタナラバ、成ルベク法律ノ文句ヲ簡單ニスルト云フ點カラ致シマシタナラバ、或ハ之ヲ後半ヲ除イテ、逋信省内部ノ經理規定ニ置イタガ宜イカモ存ジマセヌガ、之ヲ此處ニ入レマシタ理由ハ、從來矢張り特別會計法ノ中ニ斯ウ云フ事項モ掲ゲテ居リマシタノト、モウ一ツハ此郵便貯金ニ貯金局長ガ附ケマシス所ノ利子ハ、或ハ歳入財源ヨリ或ハ他ノ財源カラヤルノデハナクシテ、其金ヲ預金部ニ預入レマシテ、其預金部カラ貫テ利子ヲ其儘ツクリ附ケルノデアルト云フ意味ヲ明ニスルタメニ置イタノデアリマシテ、此事項モ相當重要デアリマスカラシテ、前半ニ引續イテ此事ヲ規定シタ譯デアリマス、サウ云フ譯デ第二條ハ此預金部預金法ニ這入ッテ來タ次第デアリマス、ソレカラ此郵便貯金ノ利子ハ逋信省ニ

於キマシテ決定シテ、大藏大臣ハソレニ拘束セラレルノデハナイカト云フ御意見ガアリマシタ、是ハ事實ニ於キマシテ從來郵便貯金ト云フモノハ、逋信省所管ノ事項ニナッテ居リマシテ、從テ其利子モ勅令ノ規定ニ依リマシテ逋信大臣ガ決定スルコトニナッテ居リマシテ、此預金部ガ貯金局長ノ預金ニ附ケマシス利子ハ貯金局長……此郵便貯金者ニ附ケマシス所ノ利率ノ反射作用トシテ其儘此大藏大臣ノ決定スル利率ニナッテ來ルノデアリマシテ、其點ニ付キマシテハ、私ハ大藏大臣ハ此逋信大臣ノ決定スル郵便貯金利子ニ拘束ヲ受ケルト云フヤウニモ解釋ガ出來ルカ知レマセヌガ、實際問題ト致シマシテハ、前回モ大藏大臣カラ申サレマシタヤウニ、逋信省ニ於キマシテ、郵便貯金利子ヲ決定シマスル時ニ於キマシテハ、實際上大藏大臣ニ協議シマシテ決定スル譯デアリマシテ、或ハ大藏大臣ガ進ンデ逋信大臣ニ向テ預金部利子ノ上下ヲ協議サレル場合モアラウト存ジマス、サウ云フ譯デアリマシテ、實際問題トシテハ差支ナイヤウニ存ジマス、其趣旨デ第二條ハ置イタノデゴザイマス、

○菅原通敬君 唯今ノ詳細ナル御説明ニ依リマシテ、第二條ガ茲ニ生レタ謂ハレ因縁ガ明カニナッテアリマス、ソレニ依テ初メテ此立法ノ精神ガ解ッテ來ルノデ、唯今ノ御説明ハ非常ニ必要ナコトデアッタト思フノデアリマス、然ラバ色々ナ疑義ガ起ルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレニ依テ明カニナリマシタカラ、ソノコトハ了解イタシマシタガ、此郵便貯金ノ利子割合ヲ定メルコトハ、逋信大臣ガ之ヲ定ムル、而シテ郵便局カラ預ケ入レル預金部ノ預ケ入レ金ニ對スル利子割合ハ大藏大臣ガ之ヲ定メル、從テ大藏大臣ハ貯金局長

ノ申出タル利子割合ト云フモノニ自然拘束セラレバヤウナ結果ニナルト云フコトハ、ドウモ今政府委員ノ述ベラレタ通りデモ、其嫌ヒガアルノデアリマスガ、茲ニ於テ私ノ先回申述タ通り郵便貯金ノ利子割合ヲ定メルト云フコトヲ逡信大臣ノ職權ノミニ之ヲ委ネテ、委セテ、而シテ大藏大臣ガ之ヲ干與シナイト云フコトハ、甚ダ當ヲ得ナイヤウニ思フノデス、成程内部デ協議ヲ整ヘルカラシテ、實際問題トシテハ差支ハナイト言ハレルケレドモ、職權問題トシテハ是ハ許サレヌコトデアラウト思フノデア

ル、矢張り郵便貯金ノ利子割合ヲ定メル勅令ノ如ク、大藏大臣モ共ニソレニ副署ヲセラレテ、ソレニ對シテ責任ヲ取ラレルト云フコトガ必要デアラウ、況シテ其結果ガ後トノ預金部ニ於ケル利子割合ヲ定メル場合ニ於テモ、重大ナル關係ヲ持テ來ルノデアリマスカラ、今迄ノコトハ今迄ノコトト致シマシテ、將來ニ於テ此郵便貯金ノ利子ノ上ダ下ダスルト云フコトニ付マシテハ、逡信大臣、大藏大臣共ニ其責任ヲ取ラレルト云フヤウニシテ、大藏大臣ガソレニ副署ヲセラレルヤウニナルコトヲ御考ヲ願ヒタイノデアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御説ニ對シマシテハ、前回御答ヲ致シマシタ通り、實際ニ於テハ兩大臣ノ協議ニ依ッテ、之ヲ定メルコトニナッテ居リマスシ、又事實ト致シマシテ、寧ろ大藏大臣カラ御キ掛ケテ之ヲ決メタ場合ガ多カラウト思フテ居リマス、デソレ故ニ事實問題トシテハ、別ニ差支ヘハナイ譯デアリマスケレドモ、菅原君ノ御説ノ通り、ソレハ事實ノ問題デアッテ、法令上ニ於テ大藏大臣ガ公然之ニ參訓ヲシテ居ナイト云フコトハ、是ハ蔽フ可カラザル事柄デアリマス、御説ハ如何ニモ御尤モト

伺ヒマシテ、其點ニ付テハ、將來篤丁了承イタシマシテ研究ヲスルコトニ致シマス

○委員長(伯耆柳澤保惠君) 預金部ノ預金法ハ大體質問ガ済ミマシタカラ次ニ移リマス、大藏省預金部特別會計法案、是ハ別ニ御質問ガナケレバ其ノ臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案ニ連リタイト思ヒマス、兩方トモ別ニ御質問ゴザイマセヌケレバ、更ニ全體ニ付イテ御質問ガアレバ御發言願ヒマス、別ニゴザイマセヌケレバ、此際御意見等モゴザイマセヌケレバ、御述ベニナッテ宜シカラウト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 此三ツノ法案ニ付キマシテ、非常ニ是ハ結構ナ法律案ダト思ヒマス、政府ガ行政財政ノ整理ヲ標榜セラレタ、其結果ノ中ニハ、本員ノ未ダ十分ナラズトシテ、少シク遺憾ニ思フコトモアリマスガ、又大藏大臣自ラモ十分ニ行カナカタト云フヤウナ言明ヲナサツタ譯デアリマスケレドモ、其中ニ付イテ、預金部ニ大イニ手ヲ入レラレタト云フコトハ、是ハ歷代ノ内閣ガ是マデハナカ、手ノ届カナカタコトデアアルノデアル、ソレヲ此際思ヒ切ッテ手ヲ入レラレタト云フコトニ付イテハ、非常ニ私ハ是ヲ多トスルノデアリマス、而ウシテ過日來大藏大臣ト問答ニ依ッテ、其意ノアルトコロヲ察シマスルニ、既往ノ、極メテ不整理ナルモノハ、此際ニ整理シ、又將來ニ於テ弊害ノ起ラヌヤウニ、穴ヲ塞グ、即チ此預金法特別會計ノ設置ト云フモノハ、二ツ目的ヲ持ッテ居ルト思フ、既往ノ不都合ヲ此際整理シ、又將來ニ於テ不都合ヲ繰リ返スベキ穴ノナイヤウニシヤウ、是ハ何人ガ局ニアタリマシテモ、私ハ此際十分ニ此二ツノ目的ヲ徹底サシテ置カヌトナルマイト思ヒマスルガ、其點ノ中ニ、私ノ大イニ遺憾トスルノハ、既

往ノ不整理ナルコトヲ十分ニ未ダ整理サレテ居ラス、是ハ行政財政ノ整理ヲ標榜セラレル此内閣トシテハ、甚ダ遺憾ニナルコトデ、預金部ノ所謂滯リ勝ナドモ稱スベキモノハ、十分ニ此際整理シテ、穴ノナイヤウニシテ置クト云フコトハ、極メテ必要デアラウト思ヒマス、蓋シ大藏大臣モ其意デアツタノデアラウケレドモ、餘リニ此整理スベキコトガ多イタメニ、コ、マデ或ハ手ガ届カヌト云フヤウナ遺憾ガアツタノカモ知レマセヌ、此際ドシナニ國庫ニ困難ガアツテモ、矢張りヤツチ置イタ方ガ宜イト思フ、ソレデ私ハ此新特別會計ノ此組織ヲ實施セラレルマデニ、スベテ既往ノ不都合ナルモノハ、善ハ善トシ、整理ヲ要スルモノハ之ヲ整理スルト云フコトニスルト云フコトモ、一ツコ、ニ政府ノ言明ヲ求メテ置キタイ、又我ミトシテハ希望ノ決議ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、ソレヲ文句デ申シマスレバ、「政府ハ現在預金部運用金中、損失ニ屬スルモノ、若シハ整理ヲ要スルモノハ、預金部預金法、及ビ預金部特別會計法實施マデニ、處分ヲ了シ、其計算ヲ明カニシテ、新法實施ニ移ルヘシ」、此ハ此タビノ特別會計法ノ結果トシテ、自然斯ウナルモノト思ヒマス、此特別會計法ノ法ヲ讀ンデ見マス、損失ハ積立金カラ云々ト云フヤウナコトガアリマスカラ、サウ云フヤウニナルコトト思ヒマスガ、ケレドモ、兎ニ角ハ政府ニ希望ヲ述ベテ、政府ノ同意ヲモコ、ニ明カニ得テ置クト云フコトガ、宜カラウト思フ、コ、ニ一ツ希望ヲ述ベテ置クトデアリマシテ、又政府ノソレニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二ハ、今菅原委員カラ御述ベニナッタコトデアリマスガ、是モ委員會ノ決議トシテ置キタイノデアリマス、簡易生命保險積立金ト

云フモノハ、何等此預金ノ運用ト異ルコトハナイ、政府部内ニ二ツノリウ云フモノガアツテ、又預金部委員會ヲ作ルト云フコトニナルト、同ジヤウナ委員會ガ二ツアルト云フコトニナル、是ハ行政整理ノ上カラ云フテモ、甚ダ、不都合ナコトデ、殊ニ現内閣ハサウ云フ重複シタモノヲ斷然廢スルトイフ方針ヲ執ラレルノデアリマス、然ルニ今菅原君ノ問ヒニ對シテノ當局大臣ノ御答ハ其意ハ有タケレドモ十分ニソレ迄行カナカッタトイフヤウノ意味ニ聽エルノデアリマス、是ハ各省割據ノ弊デ、兎角斯ウイフ事ガ多イノガ、即チ此國費ノ浪費ト詰リ結果ハナルノデアリマスガ、此何等今菅原委員ノ仰シヤツタ通り、何等異ルコトハナイ、又逡信省トシテモ此積立金ノ運用ヲ自分ガスルヨリハ、大藏省ノ大キナ運用ノ方ノ中へ入レテ貰フタ方ガ樂ナ譯デアリマス、往年此積立金ニ付テハ、何等カ東京府ノ何トカ知事ノ關係シテ居ル筋マデ貸シタトイフヤウナコトガ問題ニナツタコトスラアル、サウイフヤウナ事トイフモノハ兎角斯ウイフモノガ數ガ多イト弊ガ生ジ易イノデアリマスカラ、大藏省ノ嚴重ナル監督ノ下ニ於テ、大藏大臣ガ之ヲ直轄シテ居ラルトイフコトハ、一番弊害ヲ少ナカシムル所以デアラウト思フ、是モ希望トシテ決議イタシテ置キタイノデアリマス、併シ之ニ對シテハ今ノ既ニ大藏大臣ガ菅原委員ノ問ヒニ對シテ御同意ノ意味ヲ言ハレテ居ルノデアリマス、重ネテ之ニ對シテ御答辯ハ要ラヌト思ヒマスケレドモ、吾々委員トシテハ此事ヲ明ニシテ置キタウゴザイマス、ソレカラ第三ニハ、是モ今菅原委員カラ御尋ネナリマシタガ、預金部ノ資金運用委員會ハ勅令ニ委ネラレテ居リマス、是ハ法律ヲ定メルトイフコトガ隨分面倒イコトデアリマス

カラ、勅令ニ委任シタ方官カラウト思ヒマスルガ、吾々ノ希望ヲ茲ニ申述ベテ置キタイノハ、其權限ハ十分ニ鞏固ナルモノヲ私ハ決議トシテマデハ明言イタシマセヌケレドモ、運用上大藏大臣ガ實際ニ其決議ヲ尊重セラレ、バ、諮問機關デアッテモ決議機關ト同ジコトニナル、要スルニ人ニ存スル譯デアリマスガ、斯ウイフモノヲ設ケテ諮問機關デアルカラト云フテ一向諮問委員ノ決議シタ事ヲ勝手ニ直ストイフヤウナコトニナレバ、斯ナモノヲ設ケル必要ハナイノデアリマスケレドモ、決議機關ト迄ハ本員ハ之ヲ主張イタサスノデアリマスガ、權限ヲ鞏固ニスルトイフコトヲ一ツ希望イタシテ置キタイ、又委員ノ人物ノ詮衡モ唯今大藏大臣ノ連ベラレタ通りデアリマスガ、官民中ノ有力者トイフコトヲ以テ規程ヲ設ケラレトイフコトヲ希望スルノデアリマス、貴衆兩院議員トイフヤウナモノハ、是ハ直接關係モ餘リナイヤウニ思ヒマスガ、何等カ其人ノ位地ガ政府デモテ自由ニ替ヘラレヌヤウナ位置ノ人ニ、例ヘバ日本銀行ノ總裁デアルトカ何トカイフヤウナ位置ノ、政府ガ勝手ニ替ヘラレヌヤウナ人ガ本員ハ可イカト思ヒマスルガ、ソレヲノ事ハ委員諸君ノ中ニモ色々ナ議論ガ起キテ來マセウカラ、敢テ之ヲ指名シテ申ス譯デアリマセヌガ、兎ニ角折角設ケラレル機關デアリマスカラ、其機關ガ國民ノ豫期ニ添フヤウナ結果ヲ得ルヤウニ希望スルノデアリマシテ、此希望ヲ述ベテ置キマス、即チ諺ンデ見マスレバ「簡易生命保險積立金ハ之レヲ預金部ニ預入レ預金部ニ於テ運用スルコトニ法規ヲ整理改正シ取扱ヲ簡易明確ナラシムヘシ」是ガ第二希望、第三ノ希望ハ「預金部資金運用委員會ノ權限ハ之レヲ鞏固ニシ委員ノ人物詮衡ハ官民中有力

者ヲ得ルコトノ趣旨ヲ以テ其規定ヲ設ケラレタシ」前ノ「新法ノ實施ニ移ルヘシ」ト云フノ「新法ノ實施ニ移ラレタシ」第一ノ希望條件ノ末文ヲサウ改メマス、第二ノ「簡易明確ナラシムヘシ」ヲモ「ナラシメラレタシ」ト致シマス、是ガ三ツノ希望デゴザイマス、ソレカラ其將來ノ穴ヲ塞グト云フコトニ付キマシテハ、是ハ最モ政府ガ意ヲ用ヒラレタコトデナイカト思ヒマスケレドモ、ドウモ第四條デハ未ダ其事ガ十分デ無イヤウデアリマスル、デ何トカ此法文ヲ修正セズニ其目的ヲ達シタイト思フテ、色々考ヘテ見マシタガドウモ法文ヲ修正シナイト十分ニスルコトガ出來サウモアリマセス、第四條ノ一項ヲ斯ウ修正シタイデス、

「預金部預金並大藏省預金部特別會計ノ積立金及支拂上ノ餘格金ハ之ヲ預金部資金トシ」ソノ以下ヲ改メマシテモ、「主トシテ國債證券ニ運用シ及ヒ預金部資金運用委員會ニ諮問シ有利確實ナル地方債券及ヒ政府ノ管理官ヲ付ケタル特殊銀行發行ノ債券ニ運用スヘシ」二項ハ原案ノ通り、一項ヲ今申シ述ベマシタヤウニ直シタイ、是ハドウ云フ趣意デアアルカト云フト詰リ過日來大藏大臣ノ御答辯ガアリマシタコトヲ法文ニ明記シタ方官カラウト云フ趣意ナンドアリマシテ、即チ主トシテ國債證券ニ運用スルト申シマスルノハ、國債證券又ハ國家内ニ於テ運用スル場合ニ發行スル證券、即チ國債證券ニ之ヲ運用スル、此場合ニハ別段ニ委員會ニ御諮問ノ必要ハアルマイト思ヒマス、是ガ一番安全ナ運用ノ仕方デアラウト思フ、ソレカラ及ビ預金部資金運用委員會ニ諮問シ有利確實ナル地方債券、是ハ地方ノ府縣トカ市町村ノ債券デ、即チ地方債券ノ中ニハ、餘リ有利確實デナイモノモアリマス、之ヲ防ガンガ爲ニ御諮問ノ上、地

方債券ニ放資スルトカ、並ニ政府ノ管理官ヲ付シタル特別銀行發行ノ債券、斯ウ制限致シマスルト、詰リ唯今ノ貸付金ガ出來ナクナルト云フコトニナル結果ハ、...此交通銀行ノ交通銀行ニ貸付金ヲスルトカ、或ハ漢冶萍ニ貸付スルト云フコト、出來ナクナル、而シテ預金部ノ金ハ極メテ確實ニ又何等今日ト變リナク、貸付金ハ出來マセヌケレドモ、低利貸金ナリ其他ノモノノ運用ガ出來マシテ、而シテ是ハ政府ガ債券ヲ持ッテ居リマスカラ必要アル場合ニハ何時デモ債券ヲ賣ルコトガ出來ル、賣ッテ又金ガ要リマス場合ニハ、其持ッテ居ル債券即チ融通資金デアリマスカラ、債券ヲ賣ルコトガ出來ル、又勸業銀行ナリ興業銀行ナリニ放資シタモノガ例ヘバ損ガ生ジタ場合ニデモ、政府ハ債券ヲ持ッテ居ルカラ政府ニハ損害ガ來ナイ、極メテ政府ハ即チ安全ノ地位ニ立ツノデアリマス、唯今ノ預金部ノ御廻シナリマシタ運用ノ内譯ヲ見マスルトマア色々ノコトガアル、ソレハ理窟カラ言フタナラバ、損失ハ國庫ニ來ヌノカモ知レヌガ、隨分其事實處分ヲセネバナラヌト云フ場合ガアッタナラバ、ナカ...苦情ガ起ルコトガアリハセヌカト云フコトガ見ヘルノデアリマス、サウ云フコトハ國民ノ貯金ヲ預タ運用ノ上ニ於テハ、決シテ適當ノコトデヤナイ、サウ云フ貸付若クハサウ云フヤウナ國庫ノ損失ヲ生ズルヤウナ種類ノモノニ、國ノ政策上貸付ケナクチャナラヌヤウナ場合ガアッタナラバ、ソレハ今ノ憲法ニ依リマシテ國家ノ歲入歳出トシテ、議會ノ協賛ヲ經テ貸付ケル手段ヲ取ルナノ外ハナイ、其場合ニ預金部ガ金ガ要ラナラバ、政府ハ國債ヲ發行シテ、預金部ハ政府ノ國債證券ヲ出シテ、政府預金全部ガ引受ケタ國債證券ノ收入ヲ以テ國家ノ歲入ニ入レテ、

サウシテ其歳出トシテ貸出ス、斯ウ云フコトニスレバ、若シ損害ガ起リマシタ場合ニ預金部ガ損ヲ背負フノデ無クシテ、國家ガ其損ヲ背負フ、而シテ其損ガ生ズルカ利ガ生ズルカト云フコトニ付テハ、帝國議會ガ責任ヲ負フコトニナリマスカラ、何卒政府ノ行動ヲ束縛スルコトハナイ、若シ政府ノ行動ヲ束縛スルコト云フナラバ、其政府ノ勝手ナコトガ出來ヌコトニハナルデスケレドモ、ソレハ既ニ歲入歳出ノ豫算ヲ以テ政府ノ活動ヲ多少トモ拘束スルコトニナッテ居ル以上ハ、今日ノ憲法上已ムヲ得ヌコトデアッテ、預金部ノアルガ爲ニ穴ヲ潜ルヤウナコトハ決シテスベキモノデ無イ、若シ今日ノ預金部ノ運用ノ狀態ガ今一層惡化シタ場合ニ、殆ド是ハ容易ナラザル損失ヲ國庫ニ惹起スコトデアッテ、ソレガ爲ニ國ノ信用マデモ傷ケル虞ガアルノデアリマス、大藏大臣ガ斷然預金部ノ改正ニ指ヲ染メテ、サウシテ既往ニ於テ又將來ニ向ッテ弊害ヲ一掃シヤウト云フコトデアアルナラバ、唯今本員ノ申述ベマシタ、修正ノ如クニ喜ンデ御贊成ニナルコトヲ期待スル譯デアリマス、而シテ此修正ニ是ハ政黨ハ何ニモ關係ハナイ、唯法律ノ運用上完全ヲ期シタイト云フホンノ字句ノ修正ニ止ッテ、精神ニ於テハ全然大藏大臣ガ過日來御答辯ノコトト一致シテ居ルト思ヒマス、衆議院ニ於テハ異論ガナイト云フコトデアリマス、一旦衆議院ノ議ヲ經タモノニ修正ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ容易ナラヌコトデアリマシテ、出來得ルナラバ字句ノ修正ハ避ケタイノデアリマスケレドモ、是ハ幾ラカ、茲ニ缺陷ガアルヤウニ思フノデアリマス、缺陷ガアル場合ニ於テハ兩院何レカノ氣ノ附イタコトヲ修正スルト云フコトハ、是ハ亦相當ノコトデアラウト思フノデアリマスカラ、本

員ハ茲ニ第四條ノ第一項ニ修正ヲ提出致シ
タ譯デアリマス、皆サンノ御賛成ヲ得タイ
ト思ヒマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今阪谷男爵ヨ

リ本案ニ對シテ三箇ノ希望ヲ御述ベニナリ
マシタ、最後ニ預金部預金法ノ第四條ニ對
スル修正ノ御意見ヲ御述ベニナリマシタ、
希望トシテ御述ベニナリマシタ第二、是ハ
簡易保險ノ運用委員會トノ關係デアリマシ
テ、此點ニ付テハ菅原君ノ質問ニ對シテ御
答ヲ申上ゲルト共ニ、大體ニ於テハ政府ハ
御同意ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、尙ホ
將來ニ互ニ對テ研究考慮ヲ致ス考デアリ
マス、第三ノ委員會ノ組織並ニ其委員ノ人
選ニ付テノ希望、是ハ全然御同意デアリ
マス、之モ他ノ委員ノ御方ノ質問ニ對シテ
御答ヲシタ通りデアリマス、此二點ニ對シ
マシテハ政府ハ將來ニ向テ又是ガ實行ニ
當テ篤ト考慮ヲ致シテ、成ルベク御希望
ニ副ヒタイト思ヒマス、唯第一ノ御希望ニ
對シマシテハ、其御趣意ハ至極御同意デア
リマスケレドモ、此新法ヲ實行スルニ先立
テ從來ノ貸附金並ニ運用金ノ整理ヲ致ス、
サウシテ損失ハ損失、利益ハ利益トシテ之
ヲ洗ヒ浚ヒ決算ヲ致シ、然ル後ニ新法ノ實
行ニ入ルヤウニ致シタイト云フ御希望デゴ
ザイマスガ、之ニ對シマシテハ實ハ表ヲ御
上ダ申シタカ知リマセヌガ、預金部ノ預金
ノ運用並ニ其運用トシテ致シマシタ貸附ハ、
今日マデハ格別滞リ貸シニナッテ居ルモノ
ハ大體ニ於テマダ無イト思フテ居リマス、
其回收ノ期限ガ寧ろ將來ニアリマスノデ、
今日ハ貸付ノ期間中、運用ノ期間中ニ屬シテ
居ルモノノガ多イノデアリマス、其期間中ニ
アリマスモノヲ直ニ決算ヲ致シマシテ、サ
ウシテ缺損ハ之ヲ缺損トシ、又剩餘ハ剩餘
トシテ茲ニ清算ヲ致シ、決算ヲ致スト云フ

コトハ、是ハ甚ダ困難ナ事柄デアリマス、
從テ御希望ノ御趣意ニハ無論御同意デアリ
マス、將來其期限ノ到來スル度毎ニ、十分
ニ是ガ回收ヲ努ムルコトハ致シマスケレド
モ、此新法ノ實行ニ入リマス本年度内ニ於
テ、期限中ノモノマデモ之ヲ總テ之ヲ停止
スルト云フコトハ、是ハ實行ガ困難デアラ
ウト考ヘマス、第一ノ御希望ニ對スル當局
ノ意見デアリマス、第四條ノ修正ノ御意見
ニ對シマシテ、一應政府ノ見所ヲ申上ゲ
テ置キタイト思ヒマス、修正ノ御趣意ハ大
體二箇條ニ分カレテ居ルト思ヒマス、其第
一點ハ即チ國債運用ノ場合ニ於テハ運用委
員會ニ於テ諮問ヲ要シナイト云フノデ、之
ヲ運用委員會ノ諮問事項カラ取除カル、ト
云フノガ第一點デアリマス、第二點ハ貸付
ト云フコトヲ法律上認メナイコトニスル、
是ガ第二點デアラウト思ヒマス、第一點ニ
關シマシテハ國債證書ニ運用致シマスルニ
付テハ、其度毎ニ必ズシモ委員會ニ諮問ハ
要シナイト思ヒマス、併ナガラ前回モ説明
ヲ致シマシタ通り、施行規則ヲ制定スルコ
ト當リマシテ、斯ウ云フコトヲ規定スルコ
トハ考ヘテ居リマスガ、ソレハ即チ「主管大
臣ハ毎年度預金部資金ノ運用ニ關シ一様ナ
ル計畫ヲ定メ豫メ之ヲ預金部基金運用委員
會ニ付議スベシ、其計畫ヲ變更セムトスル
トキ亦同ジ」是ハマダ未定稿デアリマスケレ
ドモ、勅令ノ第一條ニ此コトヲ規定スル
積リデアリマス、其考ハ年度ノ初ニ當リマシ
テ、其年度内ニ運用シ得ベキ所ノ預金部ノ
資金ノ總額ガ凡ソ豫定サレマス云フト、
此年度ニ於テ其運用シ得ベキ所ノ預金部資
金ヲドウ云フ割合デ如何ナル方面ニ運用ス
ルヤ、如何ナル有價證券ニ之ヲ分配スルカ
ト云フ大體ノ計畫ヲ決メマス、其時ニ於テ
ハ例ヘバ本年運用スベキ資金ハ一億圓デア

リマス、其中公債ニ幾ラ戻シ、或ハ特殊會社
銀行ノ社債券幾ラ取扱フカ、特別會計、一
般會計ノ貸付ヲ幾ラ分配スベキカト云フ
所ノ分配ノ比率ヲ、計畫ヲ以テ之ヲ定メマ
シテ、ソレヲ先ツ第一著ニスルヤウニ、委
員會ニ年度初ニ於テ諮問ヲ致ス、斯ウ云フ
コトニ致シタイト思フテ居リマス、ソレハ公
債ニ例ヘバ二割ナラニ割、五割ナラニ割ヲ
運用スベシト云フコトニ決マリマス以上
ハ、其公債ノ種類ハ五分利ナラニ五分利ノ國
庫證券、四分利ナラニ四分利ノ證券デ、其都
度々々最早諮スル必要ハアルマイト考ヘマ
スガ、大體公債ニ二割位ヲ今年ハ運用スベ
キヤト云フ位ハ、運用委員會ノ諮問ニ附
セナケレバナルマイト思フテ居リマス、從
テ國債ニ運用スルコトソレ自身ハ、運用種
類ノ範圍外ニ置クト云フコトハ如何ナモノ
ト考ヘマスカラ、矢張り大體トシテ運用委
員會ノ諮問事項ニ入レテ置キタイ、左様ニ
考ヘテ居リマス、ソレガ第一點ニ對スル政
府ノ意見デアリマス、第二點ノ御趣意ニ對
シマシテハ、私ノ觀ル所デハ法律上カラ申
シマスレバ、貸付モ亦運用ノ一ツデアルト
ス様ニ思フテ居リマスガ、併ナガラ大體ノ
方針ト致シマシテハ、政府ハ成ルベク貸付
ニ依ル運用ヲ避ケタイト考ヘマス、然ラバ
全體ニ法律ヲ以テ之ヲ禁止シテ仕舞テハ
ドウカト云フ、斯ウ云フ點ニナリマス、
ソレデハ政府ハ困ル場合ガアラウト思ヒマ
ス、ドウ云フ場合ニ困ルカト申シマスレ
バ、例ヘバ興業債券ナラ興業債券ヲ預金部
ニ運用シテ引受ケマス、其興業債券ハ御承
知ノ通り發行ノ限度ガ法律上制限ガアリ
マス、ソコデ興業債券ノ引受ニ餘リ預金
部ノ資金ヲ使ヒマス云フト、他ノ目
的ノ爲ニ興業銀行ガ債券ヲ發行セント
スル場合ニ於テ、債券發行ノ限度ヲ超

過スルコトヲ恐ル、ガ爲ニ、興業債券ノ發
行ヲ差控ヘナケレバナラヌト云フ結果ニ陷
ル虞ガアルト思ヒマス、是ハ獨り興業債券
ニ限リマセヌ、勸業債券ノ場合ニ於テモ亦
同様デアリマス、預金部ノ運用ノ爲ニ債券
ヲ發行スル、ソレガ爲ニ之ニ必要ナル所ノ
事業資金トシテ債券ヲ發行スル餘力ガ無ク
ナツト云フヤウナコトガアルト、是ハ特
殊銀行ノ機能ヲ十分ニ發揮セシムル所以デ
アリマセヌカラ、其場合ニ於テ債券ノ引受
ト云フ形ノ外ニ、場合ニ依ッテハ、興業銀
行ニ對シ、或ハ勸業銀行ニ對スル貸付ノ形
ヲ執ルト云フガ如キ方法ヲ執ル必要ガ、絶
對ニ無イトハ保證ガ出來ナイト思ヒマス、
男爵ノ修正ノヤウニ法律ヲ以テ貸付ヲ忌避
サレルト云フト、其途ガ全ク塞ガレマスニ
依ッテ、是ハ政府トシテハ甚ダ困難ヲ感ズル
コトデアラウト思ヒマス、ソレガ一ツノ點
デアリマス、ソレカラ今一ツノ點ハ是ハ御
承知ノコトデアリマスガ、預金部ノ運用ノ
結果ガ確實デアるか、或ハ不確實デアるか、
此運用ハ不良デアるか、或ハ良好デアるか
ト云フコトヲ決定スルニハ、全ク其實
績ニ依ッテ發見サレルモノデアリマシテ、其
形式ガ債券ノ引受ニ依ル場合デアリマシテ
モ、貸附ノ方法ニ依ル場合デアリマシテモ、
大シテ違ヒハ無イト思ヒマス、現ニ從來ノ
実績ニ依リマス、興業債券引受ニ依ル場
合ガ其結果ガ却テ不良ノ貸付ニ陥ッテ居ル
場合ガ多イノデアリマス、ソレニ反シテ例
ヘバ正金銀行ニ對スル貸付ト云フモノデア
リマス云フト、其貸付ハ必シモ不良デナ
イ、適當ナル運用デアルト云フ場合モア
タノデアリマス、從テ預金部ノ運用ガ正
確ナリヤ否ヤ、確實ナリヤ否ヤト云フコト
ヲ鑑定スル標準ハ其實質デアるか、其形式
タル所ノ債券ノ引受或ハ貸付ト云フコトニ

依テハ餘リ異ナラヌト思ヒマス、債券ノ引受ケデモ隨分不確實ノモノモアラウ、債券ノ引受ケデモ確實ナモノガアルト云フコトハ事實デアリマスカラ、其點カラ考ヘマシテモ債券ノ引受ケノミヲ認メテ貸付ケテ絕對ニ法律ヲ以テ禁止スルコト云フコトハ、是ハ行過ギタ御意見デハナイカト、政府ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、斯クノ如キ理由デアリマスカラハ願ハクハ此法文ノ點ニ付テハ原案ノ通り成可ク御賛成ヲ願ヒマシテ、其運用ニ付マシテハ、大體男爵ノ御希望ノ通り政府ニ於テモ成可ク貸付ケノ方法ハ之ヲ差控エルト云フコトニ致シテ、此預金部ノ資金ノ運用ヲ全クサセルヤウニ致シタイト思ヒマスカラ、此修正ニ對シマシテハ、ドウゾ修正デナクシテ、此原案ノ儘デ御協賛ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 誠ニ此意思ハ一致シテ居ルコトデアリマスガ、矢張り其大藏大臣ノ言ハレル如クスルト、其處ニ穴ガ殘リテ不當ナル貸付ケヲセヌトモ限ラヌト云フノガ、抑、修正ヲ必要トスル所以デアリマスカラ、大藏大臣ノ御述ベニナリマシタ公債ノ運用、私ノ意見モ諮問委員會ニ公債ノ運用ノ高ナドヲ御示シニナルト云フコトハ一向差支ヘナイノデアリマスガ、五割ナラ五割ト決メテ置クト云フコトハ宜クナイ、如何トナラバ、預金ト云フモノハ大藏大臣ノ責任ニ屬スル預金デアリマシテ、國庫ノコトニ運用スルコトニ付テハ、大藏大臣ガ十分ナル權限ヲ以テ一向差支ヘナイ、ソコデ國庫内ノ運用ニ付テハ、ドウカスルト、租税ノ納マリガ惡イト云フヤウナ時ニハ、矢張り大藏省證券ヲ發行セラレナケレバナラヌ、大藏省證券ヲ發行スルト云フ場合ニ、預金部ニ引受ケルト云フヤウナコトハ、最も簡易ニ行ケル場合ガアルノデスカラ、ソ

コデ大藏大臣ノ義務ニ屬シ、大藏大臣ノ權能ニ屬シテ居ルトコロノコトヲ、何モ諮問委員會デ窮底ニスル必要ハ毫モナイ、唯凡ソ今年ハ預金ノ高ガ是位アルカラ、此位ハ公債ニ運用スル積リダト云フコトヲ諮問會ニ御話シ下サルハ勿論ノ話シデアル、是ハ何モ決議ヲ要スルコトデハナイ、五割ト思フタケレドモ六割ニナツタカ、或ハ五割一分ニナツタト云フヤウナコトハ、是ハ運用上アツテ一向差支ナイコトと思フ、其意味ニ於テ公債ノ運用高ヲ、必ズシモ諮問機關ニ掛ケテ、サウシテ五割ヨリハ一錢一厘モ出ルコトハ出來ナイト云フ窮屈ナコトヲスル必要ハ私ハナイト思ハレル、是ハ國庫内ノ運用ト云フコトハ、極メテ急ヲ要スル場合ガ往々アルノデアリマスカラ、是ハ大藏大臣トシテハ、大イナル支拂ト云フモノヲ引受ケテ居ル、一般會計ニ對シテ十六億カラノ支拂ヲ引受ケテ居リマスカラ、矢張り餘程其處ニ自由ナ働キガ付クヤウニナツテ居ラナケレバナラヌカラ、是ハ諮問機關ナドニ掛ケヌ方ガ宜シイト思フ、唯統計ヲ示シタリ、概算ノ見込ヲ御示シニナルト云フコトハ何等差支ヘナイコトデ、ソレハ決議モ何モ要セヌコトデアアル、ソレカラシテ勸業債券、興業債券ヲ發行シマス場合ニ、民間ノ方ニ發行スル方ガ便利ノ場合ニハ、ソレハ民間ノ方ニ發行サセテ宜イ、興業債券、勸業債券ガ民間デ發行出來ヌ時ニ多ク政府ニ言フテ來ルノデアリマシテ、又地方デ以テ低利資金トカ何ト云フモノノ爲ニ言フテ來ルノデアリマスカラ、其低利資金ノ性質ノ良イトカ惡イトカ云フコトハ、大藏省ニハ管理官モ付テ居ル、銀行局長モ居ラレ、理財局長モ居ラレノデアリマスカラ、條件ヲ付ケル時ニ、ソレ等ハ十分取締リガ付クノデ、勸業銀行、興業銀行ノ債券

發行高ハ法律デ制限シテアル、政府ガ餘リ制限ヲシテ困ルト云フコトハ毫モナイ、ソレハ國庫ニ來ル時ハ必ズ彼等ガ困ル時ニ來ルノデ、民間デ融通ノ付クモノヲ國庫ガ競争シテ預金部デ引受ケルト云フ必要ハナイ、如何トナレバ、國庫ハ公債ヲ五十億モ持ッテ居ラレルノデアリマスカラ、公債ヲ引受ケルト云フコトハ、大藏大臣トシテ緊要ノコトデアリマスカラ、十五億ノ貸付ケト云フコトハ、勸業銀行、興業銀行ニ要ラナケレバ全部公債ヲ御買上ゲニナツテモ差支ヘナイ、其方ガ結構ダと思フ、併シ過日モ御話ノ通りニ、近頃ハ地方ノ資金ト云フコトモ考ヘテヤラナケレバナラヌ、資金潤渴ノ場合デアアルカラ要ルノデアリマス、サウ云フモノノ爲ニ貸付ケルト云フ途ヲ開ケテ置クト、現大藏大臣ガ職ニアラレル間ハ、或ハソレデ宜イカモ知ラヌガ、又ドシナ大臣ガ來テ、之ヲ無暗ニ貸付ケル、ドノ銀行ニ資金ヲ貸シタ、此銀行ニ資金ヲ貸シタト云フコトニナツテ、是ガ果シテ後ニ取レルヤ否ヤト云フコトノ疑懼ヲ抱カシメルト云フコトガアツテハナラヌノデアリマスカラ、又サウ云フ貸付ケ迄モ預金法ハ見テ居ナイノデ、詰リ法ノ不備ノアルノニ乗ジテ當ノ大藏大臣ガ段々ト此貸付ケ貸付ケト云フ名義デ以テ濫用サレタノデアリマスカラ、之ヲ今日ニ防イデ置クト云フコトハ、獨リ現大藏大臣ノ爲ニハ必要デナイデセウ、併シ將來ドシナ大藏大臣ガ來ルカ分ラヌノデアリマスカラ、豫メ此處ノ穴ノナイヤウニシテ置カレルトハ、何等運用ニ困ルコトハナイノデ唯大藏大臣トシテハ、此本案ヲ衆議院ニ戻スト云フコトハ困ルデアラウ、ソレハ重々察シマスガ、是ハ何人モ異存ノナササウナ修正デアリマスカラ、私ハ此位ノ修正ハ御容レニナツタ方ガ、大變此法ヲ

完備ナラシムル所以デハナイカト思フ、或ハ大藏大臣ガ此處デ決シテ貸付ケノ濫用ハシナイト云フコトヲ言明ニナリマシテモ、其言明ハ現大藏大臣ノ時ダケシカ當テニナラヌト云フコトデハ法ヲ作ル者ニハ甚ダ遺憾ニ感ズル譯デ、ソレカラ希望條件モ處分ヲ講ズルト云フコトニ付テハ、大藏大臣ノ言ハレル程度迄ニ私ハ申シテ譯デハナイノデアリマシテ、最早今日損ト分ツテ居ルモノハ、ソレヲ整理ナサツテ御引繼ギニナツタ方ガ宜クハナイカ、期限ガ來ナイデ損トモ分ラヌモノハ、ソレハ差支ヘナイノデアリマシテ、明カニ此際損失ト決ッテ居ルモノトカ、或ハドウシテモ是ハ整理シナケレバナラヌト云フモノガアリハセヌカトモ私ハ思ッテ居ル、サウ云フモノハ新預金部預金法ヲ實施スル時ニ綺麗ニシテ置イタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フノデアリマシテ、今大藏大臣ノ御述ベニナリマシタ期限モ來ズ、損失トハナツテ居ラヌト云フモノハ、ソレ迄豫メ茲ニ見込デ整理シロト云フコトヲ私ハ言フ意味デハナイノデ是ダケハドウゾ御諒解ヲ得テ置キマス

○國務大臣(濱口雄幸君) モウ一言、阪谷男爵ハ預金部ノ資金ノ運用ハ公債證券、國債證券ニ運用スルノガ原則デアルト、是ハ預金部ノ設置ノ趣旨カラ考ヘテモ、ソレガ本色デアツテ、其他ハ或ハ附隨ノ運用デハナイカト云フヤウナ御考ヲ以テ御話シニナリマシタ、尤モ地方ノ低利資金等ニモ運用スルコトハ御認メニナツテ居リヤウデアリマスガ、大體公債ノ方ニ重キヲ置イテ御述ベニナリマシタガ、是ハ御參考ニ申上ゲテ置カナケレバイカヌト思ヒマスコトハ、衆議院邊ノ一方ノ希望ト致シマシテハ、今日預金部全部ノ運用ガ餘リ國債證券ニ偏シテ居ル、其方ニ主ニ運用シテアルガ爲ニ、地方

ノ低利資金ニ運用スル部分ガソレダケ減少シテ居ル、元來郵便貯金ハ全國ノ津々浦々カラ集ルトコロノ多數國民ノ零細ノ資金デアル、ソレヲ中央ニ集メテ、政府ガ財政上ノ必要カラシテ、之ヲ國債證券ニ運用ヤスルト云フコトニナルト云フト、地方ノ資金ハ段々凋瀕ヲシテシマウ、是ハ即チ財政上ノヤリ繰ニ預金部ヲ使フ所以デアルトスラ論ズル人モアル位デアアル、其人ノ意見ニ依リマス、地方カラ集メタル所ノ郵便貯金ヲ、預金部ノ資金トシテ運用スル時ニハ、是ハ出來得ル限り多ク地方ニ還元ヲシテ貰ヒタイ、即チ地方産業ノ伸展ノ爲メ低利資金トシテ之ヲ貸出シテ貰ヒタイ、公債證券トスルト云フモノハ成ベク少クシテ貰ヒタイ、ト云フノガ衆議院アタリノ一般ノ意見デアリマス、私ハ其意見ニ必シモ全部賛成スルモノデハアリマセヌガ、是ハ國債證券ニモ運用スベシ、其他ノ地方債證券、其他地方産業ニモ運用スベシ、即チ二者偏重偏輕ナク其運用宜シキヲ得ナケレバナラヌト考ヘマスケレドモ、サウ云フ希望ガ大體ニ滿チテ居ルヤウデアリマス、從テ預金部ノ資金ノ中、國債證券ニ運用スベキモノハ、大體ドレ位ニスベキヤト云フコトガ、一ツノ大ナル問題ト思ヒマス、運用委員會等ニ於テ一ツノ重大ナル：：：デ其運用ヲ決メルコトガドウシテモ是ハ運用委員會デ決メナケレバ、政府ガ國債證券ノ方ニ預金部資金ヲ前取りヲシテシマツテ、例ヘバ五割トカ六割トカ前取りシテ、アトハ三割トカ二割シカナイ、其殘タ二割三割ト云フモノヲ如何ニ運用スベキカラ、運用委員會ニ諮問スルト云フコトハ、ドウモ具合ガ惡カラウトハ思ヒマスケレドモ、矢張り國債證券ヲ運用スルモノモ運用委員會ニ諮問シタイト思ヒマス、第二ハ貸付ノコトニ付テハ、趣旨ニ於テハ大

シタ變リハアリマセヌガ、絕對ニ法律ヲ以テ之ヲ禁ズルト云フコトハ、甚ダ政府ハ苦痛デアリマス、御承知ノ通り特殊銀行會社ニハ、債券ヲ發行スル所ノ銀行會社モアリマス、又債券ヲ發行シナイ銀行會社モアリマス、其ノ債券ヲ發行シナイ銀行會社ハ、運用シナイ時ニハ、何時モ貸付方法ニ依ラザルヲ得ナイノデアリマシテ、成ベク：：：資金ガ絕對必要ノ場合ハ債券應募ノシヤウガアリマセヌ、デ貸付ト云フモノモ、ドウシテモ途ヲ開イテ置カヌト云フト、甚ダ困ルト考ヘマス、サウ云フヤウナ理由モアリマスカラ、願クバ是ハ原案ノ通り御賛成ヲ希望イタシマス

○菅原通敬君 阪谷男爵ヨリ御提出ニナリマシタ希望條件ノ二、三ト云フモノニ付キマシテハ全然御同意デアリマス、其第一ノ御希望條件ハ、男爵ノ御考ニナツテ居ル所ト、大藏大臣ノ解釋サレタ所ト、成ホド幾ラカ程度ガ違フヤウデアリマスガ、要スルニ御書キニナツタ文字カラスルト、如何ニモ大藏大臣ガ解釋サレタヤウニ聞エルノデアリマスカラ、アノ文字ヲ多少訂正セラレマシテ、兎モ角整理ヲ充分速カニ遂ゲルト云フ趣意ニ重キヲ置イテ、御書キ直シニナルコトヲ希望イタシマス、ソレカラ此第四條ノ修正ニ對シマシテハ、私ハ遺憾ナガラ御贊同シニクイノデアリマス、「國債證券ノ運用ニ關シテハ諮問委員會等ニ附議スルコトヲ要セス」ト云フコトニ爲サルコトガ、今大藏大臣ガ御述べラレタト全ク私同ジ考ヲ有ツテ居リマシテ、餘リニ預金部ト云フモノヲ財政的ニ利用スル、寧ロソレヲ濫用スルト云フコトガ、今マデ矢張り預金部ヲ攻撃スル所ノ一ツノ理由ニナツテ居タ程ニアラヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスカラ、矢張り財政的ニ餘リニ之ヲ利用スル、即チ國

債證券ナドト云フモノヲ無制限ニ大藏大臣ノ勝手ニ之ヲ持ツト云フヤウナコトニサスルト云フコトニナラヌ方ガ宜カラウト思フノデアリマス、ソレカラ此地方債證券及ビ政府ノ監理官ヲ派シタル特殊銀行ノ債券、ト云フコトニナルト、其他ノ所ニ向テハ運用ガマア出來ナイコトニナル譯デアリマスガ、參考トシテ廻サレマシタ此運用規則ノ中ニ、色ニミマア項目ヲ掲ゲデアリマス、其中ニ一般會計又ハ特別會計ニ對スル貸付ト云フヤウナモノハ、是ハ矢張り預金部ノ働キトシテ、ドウシテモ矢張り出來ナケレバナラヌコトデアラウト思フノデアリマスガ、是モヤルコトガ出來ヌト云フコトニナル、ソレカラ六ノ產業債券ノ應募引受、買入ト云フヤウナコトモ出來ナクナル、日本銀行ニ對スル預金モ出來ナクナル、ト言ウヤウナ大變窮屈ナコトニナツテシマヒマシテ、寧ロ其預金部資金ノ運用ト云フモノヲバ、十分ニ有利ニ行フコトガ出來ナイト云フヤウナ、却テ、不利ニ陥ルコトガアリハセヌカト思フノデアリマス、コトニ諮問委員會ト云フモノガ出來、而シテソレニ對シテハ、先刻來大藏大臣ガ言ハレタ通り、其決議ニ重キヲ置イテ、十分之ヲ確實ニ運用シテ行クト云フコトニナラレル以上ハ、今之ヲ修正サル、迄ノコトデハナイデヤナイカト思フノデアリマスガ、私ハ本會議ニ於テ大藏大臣ニ伺フタノデアリマスガ、此郵便貯金ノ利子ト云フモノハ、ドウモ此場合引上ダラレルコトガ私ハ必要デヤナイカト思フノデアリマス、併ナガラ之ヲ直チニ爲サルガ宜シイト云フマデニ切論スルノデアリマセヌガ、兎ニ角郵便貯金ノ

利子ト云フモノニ付テハ、從來大藏省ニ於テモ遞信省ニ於テモ餘リ考慮シテ居ラレナカッタ、只從來ノヤリ來リニノミ、是ニモウ情勢的ニ順應シテ來テ居ルト云フダケデアツテ、社會ノ狀勢デアルトカ、金利ノ高低デアルトカ云フヤウナコトニ、一向考慮ヲ拂ハレヌ、モウ有リ來リノ儲ニヤツテ來タモノデアルト云フコトハ、是ハ事實徹フコトガ出來ナイ、金利ガ釘付ニナツテ居タトカ、イヤナツテ居ラスト云フヤウニ隨分御説ナドモアツタノデアリマスガ、兎ニ角最近定メラレテカラ後デモ、既二十年モ其儘ニナツテ居ル、其間ニ於テモ財界モ金融界モ非常ニ變化シタ、其間ニ於テモ一切一向考慮セラレテ居ラナカッタト云フヤウナコトハ、ドウモ甚ダ等閑デアルト思フノデアリマスガ、此郵便貯金ノ金利ヲ上ダゲスルト云フコトニ付テハ、將來能ク時ノ勢、時ノ金利ト云フモノニ考ヘラレテ十分考慮セラレルト云フコトニシタイト云フコトノ希望ヲ申述ベテ置キマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 阪谷男爵ヨリ御希望ノ簡條ガアリ、御修正意見ガアリマシタ、之ニ對シテ御反對ノ御意見モアリマシタ、又他ノ委員ノ御方ヨリ御説モアリマシタカラ暫ク休憩イタシマシテ御相談ヲ願ヒマス、暫ク休憩イタシマス

午後二時三十九分休憩

午後二時四十九分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 委員會ヲ始メマス

○男爵阪谷芳郎君 今休憩中ニ段々御相談ヲシテ、意味ノ分タ所モアリマスガ、先刻述ベマシタ希望條件ノ中ノ第一項ノ方ハ、多少字句ノ修正ヲ要スルト認メマシテ、ソレデ更ニ修正ノモノヲ朗讀イタシマス「政府ハ現在預金部運用金中、整理ヲ要スルモ

ノハ、成ルベク速カニ之ヲ了セラレタシ」
是ハ大藏大臣ノ辯明モアリマシタ通りニ、
サウ一々急ニ行カヌモノモアル、又本員等
モサウ其期限ノ來ヌモノマデモ今直チニ整
理スルト云フ意味デハナカッタノデアリマ
シテ、其意味ガ宜ク分リマシタカラ、誤解ノ
ナイヤウニ希望條件ノ文句ヲ修正イタシマ
ス、第二項第三項ハ是ハ本員カラ提出イタ
シマシタ通りニ願ヒタウゴザイマス、ソレ
カラ第四條ノ修正ハ是ハ極メテ大事ナコト
デアリマスガ、是モ趣旨ニ於テハ大藏大臣
ノ方デ段々同意スルト言ハレル事情モ宜ク
諒承イタシマシタ、此預金部ノ段々弊害ヲ
生ジテ參リマシタノハ、地方ノ方デ金ヲ廻
シテ吳レイト云フ議論カラ、段々弊害ガ起
テ來タヤウニ考ヘラレマス、ソレト今一ツ
ハ政府ガ自分ノ政策ヲ支持スル爲ニ、貸附
金ヲスル、其貸附金ト云フモノガ、議會ノ
協賛ヲ經テハ、ドウモ議論ノアリサウナト
云フヤウナモノヤ、又時ニ依ルト間ニ會ハ
ヌト云フヤウナ場合モアル、サウ云フ時分
ニ憲法上ノ手續ヲ取ラズシテ、預金部ヲ濫
テヤルト云フヤウナコトノ弊害ガアル、ソ
レガ現在大藏大臣ガ貴衆兩院ニ示サレタ如
クニ、非常ニ不都合ナル運用資金ガ生ジテ
來タ原因ガアル、ソレデ地方デ預タタ……
長崎デ預タタ郵便貯金ガ東京デ使ハレルト
云フヤウナ、是ハ誠ニ愚論デ、眞ニ經濟
上カラ見マスト云フト何等價値ノナイ、
資本ト云フモノハ到ル所世界中融通シテ
歩クモノデアリマスカラ、サウ云フコト
ハ論ニナラヌノデアリマス、兎角地方ノ
人ハサウ云フコトヲ申シテ、政府ノ當
局者ヲ苦メルノデアリマス、ソレ故ニ本
員ハ尙ホ更ラ相當ナソコニ制限ヲ設ケ
ラレタラ宜カラウト思ヒマス、大藏大臣ノ
説明ニ依リマシテ、今度ノ委員會ヲ組織

シテ、委員會ニ於テ充分ニソレ等ノコトヲ
相談ヲシテ、心配ノ少ナイヤウニスルト云
フヤウナコトヲ、段々説明セラレタノデア
リマス、ソレカラ此貸附金ノコトニ付テ
ハ、弊害ノアルヤウナ貸附金ト云フヤウナ
モノハ充分ニ之ヲ避ケル、所謂法ヲ濫ル
云フヤウナ意味ノ貸附金ハ十分ニ避ケル、
全ク運用ニ屬スル、即チ日本銀行、或ハ正金
銀行等ハ、時トシテ預金ヲ貸附ケニシテ、
是ハ貸附ト申シマスケレドモ、私ノ意味デ
ハ預入レト云フコトガ本當デアラウト思ヒ
マスガ、預金ニスルト利息ノ都合ヤナンゾ
モアツテ、貸附ト云フ名義ニナル場合モア
ル、又中ニハソレデ大藏大臣ニ抵當ヲ取ル
ト云フヤウナコトニナル、例ヘバ銀行ガ大
藏大臣カラ千万圓預テ、之ヲ或ル事業ニ
千万圓投ジマス、其投ジタ事業ノ方カ
ラ、其金ガ戻テ來ヌ場合ニハ大藏省ヘ
金ヲ返ヘサナイ、是等ハドウモ直接ニ關係
ノナイヤウニ裝ッテアルケレドモ、事實ニ
於テハ矢張り或ル事業家ヘ金ヲ貸シタ
同ジコトニナル、サウ云フヤウナ弊害ガア
ルカラ法律デ以テ明カニ適用ノ方法ヲ限
ラ宜カラウ斯ウ云フノガ、本員ノ修正案
ヲ出シタ理由デアリマスガ、唯今大藏大臣
カラノ説明ニ依レバソレ等ノコトモ嚴重ニ
制限シテ、成ルベク此委員會ノ效用ヲ全カ
ラシメタイ、デ、大藏大臣ガ、ソレ等ノコ
トヲ嚴重ニ守リ、又委員會ガソレ等ヲ嚴重
ニ監督スルト云フコトニナリマスレバ、法
文ノ方ヲ餘リ窮屈ニシトカヌ方ガ宜カラウ
ト云フ、斯ウ云フ御論デアリマス、而シテ
又委員諸君ノ中ニモ、先ヅ暫ク今回ハ先ヅ
此委員會制度デ以テ監督ヲ試ミタ方ガ宜カラ
ウト云フ御説モアルヤウデアリマス、故ニ
本員ハ大藏大臣ニ於テ、此法ヲ濫テ貸付
ケタリ、法ヲ濫テ運用シタリスルコトナ

ク、眞ニ第四條ノ一項ニ書イテアル有利且
ツ確實ナル方法、國家公共ノ利益ト云フ、
其文字ノ如クニ運用セラレルト云フコトデ
アレバ、強イテ修正論ハ主張イタシマセ
ヌ、デ本員ノ修正案ハ撤回イタシマス
○菅原通敬君 修正案ヲ御撤回ニナリマス
レバ、曩ニ阪谷男カラ御提出ニナツタ三ツ
ノ希望條件附デ皆様モ御異議ナカラウト思
ヒマス、私ハ別ニ異議ハアリマセヌガ、先
刻私ノ申シマシタ郵便貯金ノ問題ハ、ソレ
ハ私ハ別ニ希望條件ガアルト云フヤウナ
書イタモノトシテ差出サヌ積リデアリマ
ス、唯郵便貯金ノ利子ト云フモノハ從來餘
リニ固定シテ居リマシテ、財界ノ情況ナリ、
金利ノ趨勢ナリト云フコトハ考慮セラレテ
居ラヌ傾ガアルカラ、將來十分其點ニ考慮
セラレテ、研究セラレルコトヲ希望スルト
云フコトヲ申上ゲテ、其コトヲバ委員長ヨ
リドウゾ御報告ヲ御願イタシマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 別ニ他ニ御發
議モゴザイマセヌカ……採決ニ致シテ宜シ
ウゴザイマスカ……三案一括シテ議題ニ付
シマスガ、三案トモ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 唯今阪谷男爵
ノ御希望、文書ニ依ル……ソレカラ菅原君
ノ郵便貯金利子ニ關スル御希望、委員長ハ
承知イタシマシタ、ソレデハ三案トモ可決
シマシタ、是デ散會イタシマス
午後三時一分散會

- | | |
|------|----------------|
| 國務大臣 | 菅原 通敬君 |
| | 安田善三郎君 |
| 政府委員 | 濱口 雄幸君 |
| | 大藏大臣 |
| | 大藏政務次官 早速 整爾君 |
| | 大藏省理財局長 富田勇太郎君 |
-
- | | |
|---------|---------------|
| 出席者左ノ如シ | 委員長 伯爵柳澤 保惠君 |
| | 副委員長 男爵阪谷 芳郎君 |
| 委員 | 子爵牧野 忠篤君 |
| | 仁尾 惟茂君 |